



岩船魂

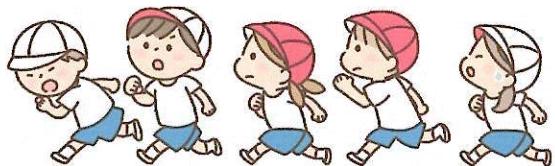
めざす岩船っ子の姿（教育目標） 「深く考え 優しく思いやり たくましくやりぬく子」

村上市立岩船小学校
学校だより No.7
令和6年11月1日
<http://www.iwafune.ne.jp/~iwax2-10>
E-mail:school@iwafune-e.murakami.ed.jp

『子どもの心に火をつける』

校長 佐藤 進

平凡な教師は 言って聞かせる
よい教師は 説明する
優秀な教師は やってみせる
しかし、
最高の教師は 子どもの心に火をつける



アメリカの教育者ウィリアム・ウォード (William Ward) の言葉の一節

岩船大祭が終わりました。今年も子どもたちは、凛とした素敵なお姿を大祭当日に見せてくれました。まさに指導者の方が「心に火をつけて」練習させてくれたのではないでしょか。

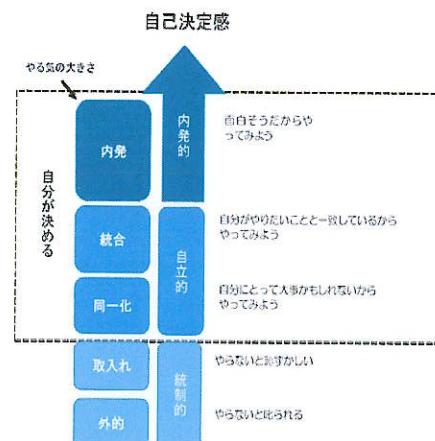
「子どもの心に火をつける」と言葉では簡単に言いますが、「子どもの心に火をつける」のは、なかなか難しいものです。叱るだけでもダメ。褒めるだけでもダメ。そこには、教師や指導者的情熱や指導技術、子どもたちへの声の掛け方など、様々な要素が必要です。

また、教師や指導者がいくら一生懸命になっても、子どもたちの気持ちが離れていては火はつきません。子どもたちが目標をもち、モチベーションを高め、成し遂げようと努力することが大切になります。その源となるのが「自己決定感」(下図を参照)です。細かくあれこれと指示をするのではなく、主体性を發揮する場が必要です。自己決定感があると、「失敗したとき」なぜうまくいかなかったのか、どうすればうまくいくのか、といったように、“改善”に結び付きます。しかし、自己決定感がないと、「難しかった」「面白くない」といった負の感情や「●のせいだ」「どうせできない」といった不満だけが残ることになります。

先般、マラソン大会がありました。多くのお家の方から応援に駆けつけていただき、子どもたちはいつも以上の力を出して走りきりました。その陰には、モチベーションを高め、マラソン練習に全力で取り組む子どもたちの姿がありました。

今回、マラソン大会の練習を始めるに当たって学年目標を決めました。マラソン大会が終わるまで学年で何周走れるのかを目標としたのです。3年生の目標は420周です。毎日記録を付けていくと周回数はどんどん増えていきます。すると、昼休みや放課後に自主的に走る子が出てきました。中には家でも練習をし、記録を伸ばす子もいました。一人一人の毎日の周回数が記録され、目に見える形で表に加算されていきました。マラソン大会が終わり、教室で合計の周回数が発表されると大きな歓声と拍手が沸き起きました。最終的には、当初の目標を300周以上も上回る736周をみんなで走りきったのです。

全てがこのようにうまくいくわけではありません。しかし、わくわくする教材を準備したり、やってみたくなる仕組みを作ったりしながら、子どもの心に火をつけられるよう、岩船小の教職員は日々努力していきたいと思います。



「できるリーダーはこれしかやらない」

(PHP出版) より

10月のトピックス

10日 5年稲刈り

5年生が、稲刈り体験をしました。天候の関係で1日延期しての実施になりましたが、秋晴れの下、岩船農産の皆様にご協力いただき、無事に実施することができました。

始めは鎌を手にどう稲を刈るのか戸惑っている子もいましたが、コツをつかむと次々に稲を刈っていました。



11日 4年校外学習(新潟市)

4年生が、校外学習で新潟に行ってきました。最初の見学場所は、新潟県庁です。案内の方に先導してもらい、危機管理センターや環境モニターなどを見たあと、18階の展望室へ。新潟市内外の雄大な景色を眺めながら、ヘリポートや信濃川、ビッグスワンなど主なものについて確認してきました。また、県警本部の通信指令室では、交通の流れや110番通報の仕組みを確認しました。



県庁にて↑

自然科学館では班ごとに分かれ、館内の様々な実験コーナーや展示コーナーを体験してきました。時間が足りないくらいでしたが、目を輝かせて活動してきました。↓自然科学館にて



23日 6年岩船中学校体験入学

6年生が、岩船中学校体験入学に参加しました。中学1年生から学校生活について説明を聞き、その後、質問に答えてもらいました。

体育の授業体験で集団行動演技の練習と発表、部活動体験では、吹奏楽部や知徳体クラブの活動を体験しました。

岩船中学校1年生の丁寧な心配りのおかげでアットホームな雰囲気の体験入学となりました。



24日 3年生社会科見学（村上警察署）

3年生が、社会科見学で村上警察署へ行ってきました。パトカーに乗せてもらった後、警察官の道具を触ったり、装着したりする活動もありました。警察官が身に付けている防犯ベストや拳銃用の盾は、とても重く、刃物が通らないような頑丈な物で作られていました。質問も多く出て、関心をもって見学することができました。



10月3日 マラソン大会

3日にマラソン大会を実施しました。子どもたちは、練習の成果を発揮して、精一杯走りました。大勢の保護者、地域の皆さんとの声援が力になったためか、多くの児童が、練習のタイムを縮め、大会記録に迫る児童もいました。

ボランティアの方々も大勢来ていただき、安全に走ることができました。ご協力いただいた皆様、伴走していただいた保護者の皆様大変ありがとうございました。

マラソン大会の結果（順位のみ 各学年3位まで）



		1位	2位	3位
1年 1000m	男子	菅原 結人	伴田 匠海	伴田 太智
	女子	岡本 心結	野上 結愛	工藤 濑凪
2年 1000m	男子	佐藤 文太郎	須貝 魁翔	石丸 康
	女子	松田 碧	瀬賀 桃羽	望月 凜心
3年 2000m	男子	小田 朝登	鈴木 玲音	鈴木 禅
	女子	茂原 妃由	鈴木 佐奈	鈴木 菜々美
4年 2000m	男子	五十嵐 桃李	藤井 悠人	保科 海人
	女子	東海林 希胡	村田 姫奈	石丸 華
5年 3000m	男子	横田 健人	松田 晴太	工藤 望
	女子	小田 菓結	渡邊 朱音	工藤 蓮夏
6年 3000m	男子	工藤 惺嵐	大矢 琉生	岡田 寿波
	女子	坂野 凜	東海林澄怜	保科 海羽

10月27日 岩船小学校展覧会・岩船地区文化祭

27日に岩船小学校展覧会・岩船地区文化祭が岩船小学校を会場に行われました。校舎の1・2階に各学年の絵画の力作が展示されました。また、岩船中学校の「イワカツ！」紹介展示も行われました。多くの地域の方や児童・保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。

体育館では、岩船地区の文化祭が行われ、岩船保育園児の作品や絵画・写真・書道等の作品、様々な団体の紹介ブース、岩船大祭や北前船の日本遺産認定に関する紹介など、様々な展示があり、大盛況でした。

28日には、全校で作品鑑賞会を行いました。様々な学年の作品に触れ、これから作品作りの参考になつたり感性を磨いたりするよい機会になりました。



岩船地区文化祭



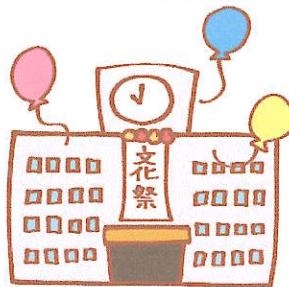
岩船中「イワカツ！」



岩船小作品展示



全校作品鑑賞の時間



学校運営協議会が行われました

9月30日(月)、岩船小学校を会場に第2回学校運営協議会が行われました。各学年の授業参観の後、協議会を行いました。主な意見、感想を紹介します。

I 授業参観の感想

- 外部の人が参観していても落ち着いて授業をしていてすごいと思った。(1年生)
- 歌声がとても元気で良かった。(2年生)
- 頑張って走ろうという雰囲気が感じられた。(3, 4年生)
- 高学年になり、授業の雰囲気が大人になったと感じた。(5年生)
- 高学年らしい知的レベルの高い授業で子どもたちも真剣に取り組んでいた。(6年生)

2 意見交換

- インターネット情報通信技術が進んでいる一方、セキュリティ対策も求められている。学校のセキュリティ対策はどうなのか。
～学校のパソコンは、一般的なインターネットからは入れない仕組みになっている。
- 学校は毎年、数値目標を定め取り組んでいるが、数値に縛られてはいけない。大切なのは子どもが学習内容をしっかりと理解しているかである。
～これからも子どもに寄り添って指導を進めていく。
- 小学生でもスマホを持っている。スマホは便利な一方、トラブルに巻き込まれる可能性をもっている。メディアリテラシー(①情報通信技術を使いこなせる能力②様々な情報をうのみにせず具体的に読み解する能力)を育成してほしい。

11月の主な予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	・5, 6年「いじめ見逃しぜロスクール集会」参加(岩船中)	
文化の日	振替休日	・カウンセラーによる教育相談	・全校集会	・岩船小合唱祭	おはようございます!! 	9
10	11	12	13	14	15	16 
	・6年出前授業「ものづくり体験」	・5年「一夜干し体験」 ・カウンセラーによる教育相談	・Q-U実施	・放課後子ども教室		
17	18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日
	・委員会	・カウンセラーによる教育相談	・児童集会		・児童会「岩小力ニバル」	
24	25	26	27	28	29	30
	・クラブ ・いじめアンケート実施	・カウンセラーによる教育相談 ・2年招待給食	・3年校外学習「ぱりんぴあ等」	・放課後子ども教室		

教育相談(～12/2)

読書旬間(～12/5)